

拓本資料展

～豊田珍比古氏旧蔵資料～

と き 平成 29 年 1 月 14 日 (土) ～2 月 5 日 (日)

9:30～19:00 (土日は 17:00)

※毎週月曜日と 1 月 27 日 (金) は休館日

ところ：豊橋市中央図書館 2 階展示コーナー

内容

拓本資料は、豊田珍比古(とよだうずひこ)氏が生前に所蔵していたもの(昭和 7 年まで採拓)を、遺族から寄附を受け、図書館で所蔵している資料です。総数は採拓の件数で約 450 件、枚数にして約 700 枚の拓本があり、戦前の資料で戦災から守り抜いた貴重な資料といえます。今回はこれらの拓本のうち、滅失したものを中心に展示します。

拓本とは

凹凸のある石碑などに紙をあて、上から墨をつけ、凹凸を写し取った紙のことです。凹んだ部分が白く、凸部分が黒く紙上に写ります。

豊田珍比古氏とは

豊田珍比古氏は、日本史や郷土史に関心を持ち、東三河地域の研究を進めた郷土史家です。



豊田珍比古氏



雲板 <拓本>

長存寺(蒲郡市)



石燈籠 <拓本>

鳳来寺東照宮

<関連行事> 拓本資料整理報告会

と き：平成 29 年 1 月 21 日(土)

13:30～15:00

ところ：豊橋市中央図書館 第 2・3 会議室

入場料：無料

内容

拓本資料の整理を行ったボランティアが、整理を始めた経緯や新たにわかったことなどを報告します。

発表者

- ・豊田俊充さん(拓本整理ボランティア顧問)
- ・小池保利さん(拓本整理ボランティア前代表)
- ・尾寄信之さん(拓本整理ボランティア代表)